

ケニアの首都ナイロビ

アフリカ最大級のスラム キベラ



日本人がはじめた学校



マゴソファミリーがやってくる！  
ダン校長&オギラ教頭  
来日トーク&ライブ

2017年5月12日(金)

Admission Free 無料

18:00-20:30  
長崎創楽堂  
(長崎大学文教キャンパス)

ダン・オチエン・オドゥオール (ダン校長先生)  
Daniel Ochieng Oduor, the President of Magoso School

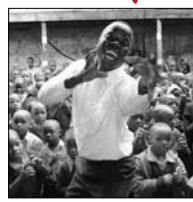
1978年生まれ。キベラスラム在住。6人兄弟姉妹の2番目。18歳のとき、警察官だった父親が死亡。何とか高校を卒業したものの、学費が無くて進学できずキベラスラムへ出稼ぎに。一年後に母親も死亡。キベラスラムでエイズ孤児の子どものホームでボランティアをはじめ、その後、その学校の教員になる。2006年にマゴソスクールに出会い、教員として働きながら定時制の大学へ進学。2009年にマゴソスクール校長に就任。孤児の子どものホーム・未亡人・高齢者を助けたいという情熱を持って活動している。マゴソスクールの子どもたちにとってお父さん的な頼れる存在。

ダン先生からのメッセージ  
「すべては実現可能！ そのために必要なのは、努力、チームワーク、そして集中力！」



ヘゼカヤ・オギラ (オギラ教頭先生)  
Hezekiah Ogira, the Vice-Principal of Magoso School

1986年生まれ。キベラスラム在住。5人兄弟姉妹の次男。8歳のときにキベラスラムで母親が死亡。そのとき末の弟(スティフ)は6ヶ月だった。学校に行きたいという夢をあきらめず、弟を背負って物乞いをしながら近所の子どものためにノートを借りて勉強を続けた。キベラの教会で出会ったリリアンの協力により奨学金を得て、2000年、セカンダリースクールに入学。高校に通いながらマゴソスクールでボランティアをはじめ。2004年、高校を卒業しマゴソスクールの正式な教師となる。2008年、マゴソスクールの教頭に就任、現在に至る。音楽部の顧問を務め、歌や踊り、タイコなどを指導して子どもたちの活動を盛り上げ、マゴソの音楽チームを毎年、ケニア全国小学生の音楽大会での入賞に導いている。



オギラ先生からのメッセージ  
「日本の皆さんとのつながり。友達として始まった。そして今ではみんな大きな家族！」

ケニア在住28年。キベラスラムのマゴソスクール主宰。世界放浪の旅の後ケニアに定住。ナイロビ最大級のスラム・キベラで、孤児・ストリートチルドレン・貧困児童のための駆け込み寺・マゴソスクール、海岸地方ミリティニ村にジュンバ・ラ・ワトト(子どもの家)を運営している。スラム住民の生活向上、マサイ民族のコミュニティと共に行うエコツアー、大自然体験キャンプ、フェアトレード活動、CD制作などを手がけている。著書に「アフリカ日和」(旅行人)、『輝きがある。～世界の笑顔に出会う瞬間(とき)』(出版文化社)。1999年から日本全国各地でアフリカトーク&ライブのツアーを展開している。2015年度第5回川豊産賞受賞。

ミスター・ティンガティンガ  
高田真也 新作オークションも開催！  
売上金は、タンザニア・ザンザリル島にある子供たちの英語塾「ハイ・キープス・ニュー・ビジョン・クラス」の支援のために役立てられます。お気に入りの作品に値段をつけてください！



早川千晶  
Chiaki Hayakawa



大西匡哉  
Masaya Onishi, Musician/Ngoma Drummer

主催：多文化社会学部アフリカハウス <https://www.facebook.com/sghssafricahouse/>  
共催：マゴソスクールを支える会 <http://magoso.jp/>

問い合わせ：増田研(長崎大学) ken-m@nagasaki-u.ac.jp 095-819-2923

